

(田原市)

| | | | | |
|---------------------|-------------------|------------------|-------|-------|
| 市町村の 基本情報 | 学校数 | 小学校 18 校、中学校 4 校 | | |
| | 地域学校協働活動推進員等の配置状況 | 統括的な地域学校協働活動推進員 | 0 人 | |
| | | 地域学校協働活動推進員 | 3 人 | |
| | | 統括コーディネーター | 0 人 | |
| | | 地域コーディネーター | 0 人 | |
| | CS 及び地域学校協働本部設置状況 | CS を導入している学校数 | 小 0 校 | 中 1 校 |
| 地域学校協働本部がカバーしている学校数 | | 小 0 校 | 中 2 校 | |



(活動の実際)

(目的)

より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成していくため、地域と学校の連携体制を基盤として、地域学校協働活動推進員を中心に地域学校協働活動を推進する。

(活動内容)

学校運営協議会の専門部会（教育課程部会、スポーツ文化部会、広報企画部会、生活安全部会、環境防災部会）において、学校を取り巻く課題について部会員の専門性を生かした検討を行っている。

学校運営協議会で検討した計画を実行に移すため、地域学校協働活動推進員を中心にボランティアの募集や運営、管理を行っている。

また、新たな学校運営協議会の設置に向け、地域学校協働活動推進員を中心に学校と地域との連携調整を進めている。

(コロナ禍での苦労・工夫)

緊急事態宣言下において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、学校に人が集まる会議等についてはできるだけ控え、地域学校協働活動推進員が個別に調整することで地域との連絡調整を進めた。

(◎成果 ●課題)

- ◎ 地域学校協働活動推進員を中心に、学校における課題について地域との共通理解を図っている。
- 新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで情報共有を図る必要があるため、通常とは別の対応が必要となっている。

(関係者の声)

- ・ 学校と地域の連携が必要となる際に、現場レベルでの連絡調整がスムーズに行える。(学校)
- ・ 学校運営協議会に地域の代表者が参画することで、学校における課題について共通理解が進みつつある。(地域)